

米軍基地由来疑い濃厚

一面のつづき

P.D.A.Sの追跡は、米海軍軍
木基地（綱島、大和市）で
も問題となっています。20
22年の段階、「格納庫内の

ASを含む過濾火薬が基地内の調整池に放出され、夢川(たてかわ)に流出。その後、政府の調査で下流から暫定目標値の3・6倍の値が検出されました。米側は10月に粒状活性炭フィルターを設置しました。

追及 PFAS 有機フッ素化合物

共産党県議団が初めて追及



眞鍋は、「綾瀬市との協議なし」と米軍が勝手に決めていたふうに「いやだよなあ。心でもない」と強調しある。

通知。綾瀬市は「突然決定され、遺憾だ」と表明しました。日本共産党中央委員会は、「綾瀬市との協議なしに米軍が勝手に決めていいんじゃない」などと、話題を強調しました。

れめた」「立ち入り」題目の
「田だ」、米軍は調整池内の全
ての水を「フィルターを通して
綾瀬川に放流すると一方的に
通知。綾瀬市は「突然決定さ
れ、遺憾だ」と表明しまし
た。日本共産党的大山泰々子
議長は、「綾瀬市との協議な
しに米軍が勝手に決めていい
んじゃない。とんでもない
話だ」と強調します。

などが実施しましたが、調整池の採水のみで、事故現場である格納庫は調査できませんでした。採水したサンプルの調査結果の公表も米側は拒否しています。

厚木地域の廻り河川で高濃度のP.P.A.Sが検出され、それが原因で米畠由来の汚染である。

大山寮夕子學識

廃水1.5万トル放出

付

実際、環境省が21年6月に

理場から放出しました。(沖縄タイムス、21年12月7日)

も真議団が要求。黒岩祐治
知事も、環境補足協定に基づいて立ち入り調査では「結果の公表に米側の了解が必要になる」などと限界を認めざるを得ませんでした(井坂しんや県議に対する答弁)。大山県議は、「県の担当者は昨年、『測定値が上昇傾向の原因調査をする』と答弁した。しかし『上昇』の客観的な基準がない、基準の設定と汚染原因の究明を今後も求めていきたい」と語りました。

日本共産県議団がP.F.A.Sを県議会で初めて取り上げ、追及してきました。米軍基地内の立ち入り調査の実施

綾瀬市内の地下水から暫定目標値の26倍にあたる—300ナダムのPERCOSを検出した。今後は、県の調査では21年8月に裏地の東側を流れる引地川から、目標値の約7倍にあたるPERCOS・PEROAが検出された。藤沢市による「兩地川の水をハミ上げて農業用水として使う農家が300軒あります。